

研究機関：広島大学

| | |
|-------------|---|
| 研究課題名 | マムシ咬傷患者の前向き観察研究:OROCHI(Observational Research Of Clinical course after mamushi bite) study |
| 研究責任者名 | 広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗 |
| 研究期間 | 2020年10月5日(倫理委員会承認後)～ 2023年 3月31日 |
| 対象者 | (倫理委員会承認後)～ 2022年 10月の間に、広島大学病院救急集中治療科でマムシ咬傷による治療を受けられた患者さん。 |
| 意義・目的 | マムシ咬傷は本邦における代表的な毒蛇咬傷ですが、マムシ咬傷に対する治療として用いられているマムシ抗毒素血清やセファランチンの効果は証明されていません。今回、山口大学病院を主施設として、マムシ咬傷に対する治療法の確立を目的に多施設前向き観察研究を行いません。当院は分担施設として参加します。 |
| 方法 | 本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 マムシ咬傷患者さんの年齢、性別、既往歴、受傷部位、バイタルサイン、症状、血液検査(白血球数、血小板数、ビリルビン、クレアチニン、CK、ALT、PT、FDP、Dダイマー)、治療内容、転帰などを観察し、治療内容がどう転帰に影響するのかを調べます。山口大学を主施設として多施設が参加し、情報は個人が特定できない形でWeb登録され山口大学に集約されます。 (個人を特定可能な情報は研究に用いません) |
| 共同研究機関 | 山口大学大学院医学系研究科 救急・総合診療医学分野 ほか 24 医療機関 本学では解析は行いません。解析は山口大学(研究責任者 鶴田良介)で行います。 |
| 試料・情報の管理責任者 | 山口大学大学院医学系研究科 救急・総合診療医学分野 教授 鶴田良介 |
| 個人情報保護について | 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。 |
| 問合せ・苦情等の窓口 | 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5456 広島大学病院 救急集中治療科 職名 助教 山賀 聡之 |